

極北の自然とチュクチの人びと

ー民博展示場と映画『ツンドラブック』をつなぐー

Nature in far north and Chukchi

-New exhibits of the National Museum of Ethnology meet “The Tundra Book”-

平成 28 年 12 月 23 日 13:00～16:00 に国立民族学博物館講堂において、第 1 回国際公開セミナーを開催いたしました。226 名にご参加いただきました。

本セミナーは、映画『ツンドラブック』の上映、コメント、映画監督へのインタビュー、総合討論によって構成されました。

本拠点リーダーの池谷和信教授がイントロダクションとして、ロシア極北に暮らすチュクチの人々の文化に関する概説を行い、本館中央・北アジア展示場の写真を交えながら、展示場と映画の世界とのつながりを示しました。

105 分にわたる映画の上映の後、呉人徳司・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授、山田孝子・金沢星稜大学教授／京都大学名誉教授がコメントを行いました。呉人先生からは言語学者の視点からチュクチ語の特殊性や、現地滞在の経験から映像に映っていない現地の状況について、山田先生からはシベリアにおけるシャーマニズムの視点から精神世界についてのコメントを頂きました。アレクセイ・ヴァフルシェフ映画監督は映画撮影時の状況や近年の変化について語って頂きました。

また、これに先立って行われた本館中央・北アジア展示場でのギャラリートークには 52 名にご参加いただき、本拠点リーダーの池谷教授がアレクセイ・ヴァフルシェフ監督とともに物質文化からチュクチの紹介を致しました。

